

令和4年(2022年) 3月31日(木) 13852号



## 株式会社 日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号  
ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL: 06-6353-7831

FAX: 06-6353-7832

MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankanzoku.co.jp

WEB: https://home.nikkankanzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
6か月 38,880円 6か月 46,200円

## アルミ圧延品 2022年度見通し

## 板押2年連続・箔3年連続のプラス

日本アルミニウム協会

一般社団法人日本アルミニウム協会(木村良彦会長)はこのほど、2021・22年度アルミ圧延品需要見通しを発表した。21年度の見込みは、板押合計が1,896千トン、前年度比+9.3%で4年ぶりのプラス、22年度は1,937千トン同+2.2%で2年連続のプラス。箔はそれぞれ、125千トン同+13.2%、2年連続プラス、132千トン同+5.6%、3年連続でプラスとしている。

21年度見込みのうち、板類は1,174千トン同+10.6%で、5年ぶりのプラスとしている。「缶材」は家飲み需要により、ビール類やRTDなどアルコール飲料が堅調に推移し、清涼飲料はテレワークの普及などにより需要が減少するも、缶全体ではプラス。「自動車」は軽量化ニーズにより、アルミパネルの採用車種が増加しプラス。「金属製品」は箔地が好調で、印刷版も20年のコロナ拡大によるチラシ需要激減から若干の回復見込み。半導体製造装置向けの厚板を含む「その他」も世界的な需要増によるプラスを見通している。

また、押出類は722千トン同+7.3%、4年ぶりのプラス。「建設」はコロナ禍から緩やかに回復し、

住宅着工戸数の増加に伴いプラス。「自動車」はアウトドア・レジャー需要や、密を避ける移動手段として2輪の需要が拡大。箔では「電気機器」が、ITリモートなどデジタル化の進展、5Gの普及、EV車の世界的な生産増などにより、コンデンサ、リチウムイオン電池ともに好調。「食料品」はコロナ禍による需要減が継続し、一部素材転換もある。

一方、22年度見通しのうち、板類は1,211千トン同+3.2%、2年連続のプラス。「缶材」は前年と同じ傾向が続きほぼ横ばい。「自動車」はコロナ、半導体調達、地政学的リスクなど不安要素はあるものの、需要は旺盛で、カーボンニュートラルの観点からアルミパネル採用の加速を予想。半導体製造装置向けの厚板も引き続き堅調を見通している。

また、押出類は726千トン同+0.5%、2年連続のプラス。輸送分野は二輪関連が引き続き高水準で、トラックも自動車生産の回復を受けて増加を見通す。「建設」は住宅着工戸数が減少、一戸あたりのアルミ使用量も減少し、マイナスとなる見通し(サッシ協会予測前年度比-0.9%)。

箔の「食料品」はコロナ影響の落ち着きに伴い、インバウンド需要までは見込めないものの、国内需要の回復によりプラス。「電気機器」は、国際情勢の悪化や半導体不足など懸念材料はあるものの需要は旺盛。脱炭素の取り組みとともに、各種デジタル改革に伴う需要拡大を見込んでいる。

主要部門別の22年度の見通しは次の通り。

## 1. 板類【食料品部門】

<+0.3%>○缶材+0.2%: RTD、健康志向の機能的アルコール飲料などは引き続き堅調。コロナの動向しただが、脱プラスチックの影響によりボトル缶は若干増加。

## 【金属製品部門】

<+4.9%>○箔地+5.6%: デジタル変革、脱炭素に向けた取り組みなどにより、引継ぎ電気機器向けが伸びる。○その他の金属製品+2.4%: 印刷版は国内材回帰の流れがあり、若干のプラスを見通す。

## 【電気機械部門: RAC=ルームエアコン】

<+3.5%>○民生用+4.4%: RACは在宅勤務の普及による各居室設置を期待。○その他電気+2.6%: 5G対応スマホの普及、企業活動や学校教育など各分野でデジタル化が進む。(2面へ続く)

## 銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶

www.kimura-metal.co.jp



QRコード

**木村金属株式会社**  
kimura 大阪市大正区鶴町 1-1-61

買取価格お問合せ

☎06-6552-7840

## 【輸送用機械部門】

<8.2%>○自動車材+8.6%：コロナや半導体調達、世界情勢など不安要素もあり先行きは不透明だが、自動車生産需要は旺盛。軽量化ニーズによりアルミの採用もさらに進展すると予想。

## 【その他】

<+7.8%>コロナ拡大防止やカーボンニュートラルの観点から、各国でデジタル化が進展、半導体製造装置向け厚板は引き続き堅調を見通す。

## 2. 押出類【輸送用機械部門】

<+2.3%>○自動車材+2.3%：2輪関係は前年より減少するも、引き続き高水準を見通す。トラックは部品調達の遅れが解消されるにつれ生産台数回復を見通す。

## 【建設部門】

<-1.1%>コロナ禍からの回復を見込むが、木材など各種素材や物流の高騰などにより住宅着工戸数は前年比微減。トップランナー制度（断熱性能などエネルギー使用合理化等の関係法律施行令）、アルミ製サッシから樹脂複合、樹脂サッシへの移行が進む。

## 3. 箔【食料品部門】

<+1.6%>コロナの落ち着きに伴い、国内需要は回復に

向かうも、インバウンド需要の回復までは見込めない。食料品は今後の国際情勢によって供給リスクもある。

## 【化学部門】

<+0.9%>医薬品の供給不安が徐々に解消し、在庫確保のための出荷は減少するが、一方でコロナによる受診控えが緩和し処方箋薬が出るほか、ワクチン接種による解熱鎮痛剤需要なども見込む。

## 【日用品】

<-1.6%>コロナは落ち着くも、アルミ価格の高騰により、家庭用、業務用ともに買い控えや他素材への転換が進む可能性がある。

## 【電気機器部門】

<+8.1%>○コンデンサ+0.7%：国際情勢の悪化やコロナの再拡大、半導体不足などの懸念材料はあるが、需要は引き続き旺盛で、高水準を見通す。OLIB+14.5%：キャッシュレス化の普及などによる民需のほか、車載向けEVの生産拡大による数量増の継続を見通す。

## 【建設】

<+1.1%>引き続きリフォーム需要などにより前年並みを見通す。

## 2022年度「アルミニウム圧延品」需要見通し

一般社団法人 日本アルミニウム協会

(単位：トン)

	2020年度 実績		2021年度 見込み		2022年度 見通し	
	トン	前年度比(%)	トン	前年度比(%)	トン	前年度比(%)
板類	1,061,306	▲ 6.1	1,173,721	+10.6	1,210,900	+3.2
押出類	673,327	▲ 10.1	722,253	+7.3	725,900	+0.5
板押計	1,734,633	▲ 7.7	1,895,974	+9.3	1,936,800	+2.2
箔	110,592	+4.2	125,183	+13.2	132,200	+5.6



## 4月の洋白・りん青銅価格を発表

関口富美雄商店

関口富美雄商店は、4月の洋白及びりん青銅価格を発表した。

洋白は、ばね用洋白板が300円引き上げ、洋白板2種は323円引き上げ、洋白線2種が329円引き上げ、快削洋白棒も320円引き上げとなった。

また、りん青銅は、ばね用りん青銅板が134円引き上げ、りん青銅板2種は133円引き上げ、りん青銅線が140円引き上げ、快削りん青銅棒は126円引き上げとなった。

各品種の販売価格は次の通り。(円/キロ、◎：プラス、▲：マイナス)

- ◆ばね用洋白板 (C7701P) 3,715円 (◎ 300)
- ◆洋白板2種 (C7521P) 3,640円 (◎ 323)

- ◆洋白線2種 (C7521W) 3,726円 (◎ 329)
- ◆快削洋白棒 (C7941B) 4,050円 (◎ 320)
- ◆ばね用りん青銅板 (C5210P) 3,668円 (◎ 134)
- ◆りん青銅板2種 (C5191P) 3,356円 (◎ 133)
- ◆りん青銅線 (C5191W) 3,648円 (◎ 140)
- ◆快削りん青銅棒 (C5441B) 3,484円 (◎ 126)

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

## 井関金属株式会社

代表取締役 井関親亮

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667



**中国：2022年1～2月、中国の亜鉛精鉱は増加も地金・合金輸入量は減少**

3月24日付け報道によると、最新の税関統計では、2022年1～2月、中国の亜鉛精鉱の輸入量は対前年同期比2.3%増の69.4万t(マテリアル量)、このうち2022年1月の輸入量は対前年同期比4.4%増の42.8万t、対前月比78.3%増加した。

2022年2月の輸入量は対前年同期比1.0%減の26.5万t、対前月比38.1%減であった。

国別でみると、豪州、ペルー、南アが引き続き中国の亜鉛精鉱の主な供給源である。このうち2022年1～2月の輸入量は、豪州が対前年同期比13.9%減の18.3万t、ペルーが同36.2%減の10.1万t、南アが対前年同期比103.2%増の7.2万tであった。また、カザフスタンからの輸入量が同383.6%伸びており、伸び率が大きい。一方、エリトリア、パキスタン、モンゴルからの輸入量はそれぞれ同1.5万t、1.2万t、1.1万t減少で、下げ幅はそれぞれ30.4%、22.9%、50.9%であった。

現在、エネルギー価格の高騰が欧州の製錬生産に影響を与え、亜鉛精鉱の供給が減少していることから、世界は中国からの調達に一層依存している。一方、2021年12月末以降、精鉱輸入の損失額が2,000元/tに上ったことで製錬所が全体的に原料調達への意欲に欠け、港湾在庫が蓄積し、多くの国からの精鉱輸入が減少した。

一方で、南アGamsberg鉱山は2020年末～2021年1月に事故のため閉鎖、カザフスタンでは2021年第4半期に新型コロナウイルス(以下、コロナ)肺炎感染が精鉱の取引に影響を与えたため、2022年1～2月のこれら2か国からの精鉱輸入量は前年同期より大幅に増加した。また、中国国内のコロナ感染状況が深刻化し、北部2か所の港における鉱石輸送に影響を与えたため、モンゴルからの精鉱輸入は大きく減少した。

中国の亜鉛地金及び亜鉛合金の取引について、2022年1～2月、亜鉛地金輸入量は対前年同期比76.5%減の2.1万tである。

このうち、2022年1月の輸入量は対前年同月比59.8%減の1.5万t、対前月比45.2%増加した。2022年2月の輸入量は対前年同月比89.0%減の0.6万t、対前月比63.3%減少で、数年ぶりの低水準を更新した。2022年1～2月の亜鉛合金輸入量は対前年同期比0.7%減の1.0万t、このうち2022年1月の輸入量は対前年同月比105.9%増の0.6万t、対前月比15.5%減であった。

2022年2月の輸入量は対前年同月比0.7%減の0.4万t、対前月比41.6%減であった。

国別でみると、2022年1～2月の亜鉛地金は主に豪州、アラブ首長国連邦(UAE)、カザフスタン及び韓国から輸入しており、これらの国からの輸入量は全体の83.8%を占めた。一部の国を除いて、大半の国からの亜鉛地金輸入量は減少した。

その原因は以下のとおり。

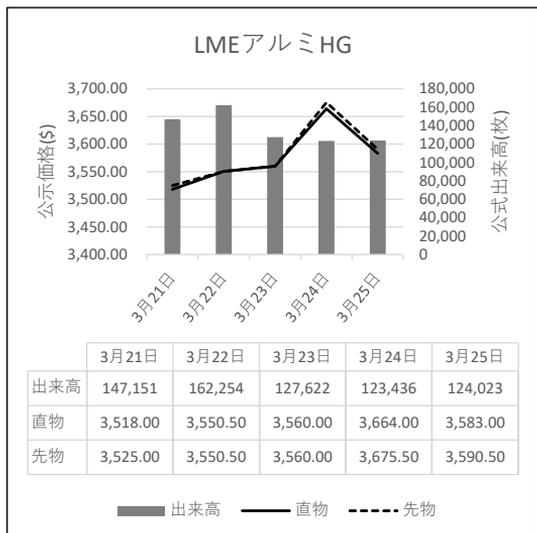
(1) 2022年1～2月、亜鉛地金及び亜鉛合金輸入における平均損失額は2,020元/tで、2021年同期の121元/tと比べ16倍近く拡大した。ただ、輸入亜鉛地金は、一部の強い需要を満たしている。

(2) 2022年1～2月、中国の春節や冬季五輪の開催時期に当たり、消費閑散期に入ったことで消費実績が海外より軟調であり、需要量が減少した。

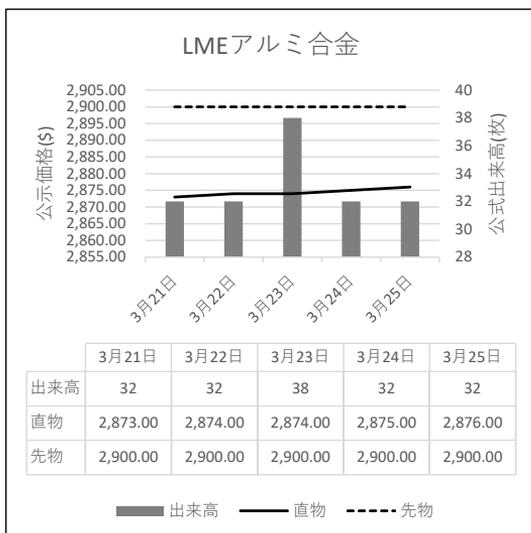
(3) 海外の構造的な地金不足により、亜鉛地金の輸出先にやや変化が生じた。

コロナ感染状況の悪化で、国内外の入札価格の回復が緩やかであり、鉱石輸入時の損失が大きい。中国国内の消費改善が遅れているため、亜鉛精鉱や亜鉛地金の輸入が回復するには依然時間がかかり、低水準が続く可能性が予想される。

**LME公式値週間推移 3月21日～3月25日(現地)**



**日刊金属** 6カ月:46,200円  
外電配送料 12カ月:92,400円  
(税込)



# 故銅市況

30日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の1万0,227.00ドルより123.00ドル高の1万0,350.00ドル。直物の終値は、前営業日の1万0,341.00ドルより26.50ドル安の1万0,314.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の1万0,230.00ドルより126.00ドル高の1万0,356.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の1万0,341.00ドルより24.50ドル高の1万0,316.50ドル。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の5月限は、前営業日の472.55セントより0.55セント高の473.10セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の5月限は、前営業日の7万3,040元より500元高の7万3,540元。

30日の東京為替市場TTSレートは、前日の125.22円より1.74円の円高ドル安、1ドル=123.48円。30日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は1万0,350.00ドル。この値と30日の東京外国為替市場USDollarTTSレートから計算した国内採算値は、前日の131万8,000円より2,000円安の131万6,000円。この日、電気銅建値は133万円に据え置かれた。

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(3月29日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1030～1035、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは995～1000、並銅は960～970、込銅（高品位＝約97%）は950、セパは818～823。コーベルは要り用筋で759、それ以外は744ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋769、それ以外739～749どころの値頃。並青銅鋳物削粉は840～845どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が1010～1030、上銅新くずが975～995、普通上銅が950～970、2号銅線が942～962、並銅が940～960、込銅（94-97%）が888、込銅（90-93%）が890、下銅が562～612、セパが783～818、コーベルが699～744、黄銅棒材が694～739、黄銅削粉が689～734、黄銅ラジが654～662、交叉ラジが554～611、黄銅銅鋳物が539～546、送りが307～326、上青銅鋳物が837～857、並青銅鋳物が817～832、上青銅鋳物削粉が832～852、並青銅鋳物削粉が807～827どころ。

## アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

### 関東地区 (3月後半)

2S=280円～300円、63S=264円～295円、アルミホイール(1P)=176円～290円、ビス付サッシ=157円～166円、エンジンコロ=160円～168円、込合金(機械鋳物)=158円～166円、缶プレス(ソフト)=131円～141円。

### 関西地区 (3月後半)

2S=267円～270円、63S=270円～273円、印刷版=260円～263円、アルミホイール(1P)=241円～251円、ベースメタル=204円～208円、機械鋳物=151円～154円、ダライ粉=130円～133円、ビス付サッシ=148円～153円、缶プレス=138円～143円。

## 為替動向

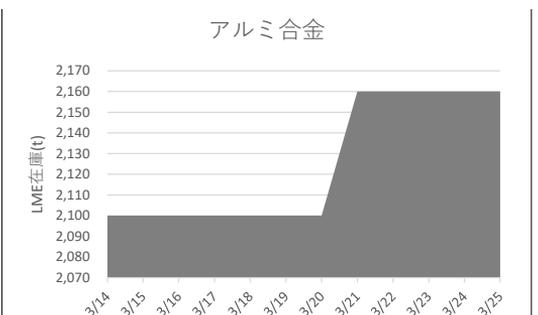
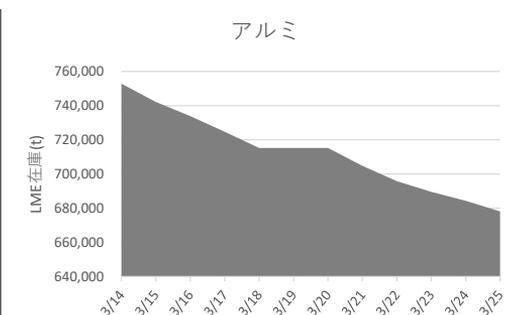
29日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日より0.0130ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.1100ドル～1.1110ドルで推移した。29日、ロシア国防省が軍事侵攻を一部縮小すると発表。ウクライナとロシアとの停戦交渉が進展するとの期待からユーロ買いドル売りが強まった。英ポンドも対ドルで上昇。同じく0.0050ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.3130ドル～1.3140ドルだった。ウクライナ情勢の好転を期待した投資家がリスク選好姿勢を弱めてポンド買いドル売りが優勢となった。

29日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反発した。前日と比べ1.05円の円高ドル安、1ドル=122.85円～122.95円で取引を終えた。ウクライナとロシアの停戦交渉進展への期待からユーロがドルに対して買われ、円の対ドル相場に波及した。円安が進んでいたため利益確定目的の円買いドル売りも出た。

30日早朝の東京外国為替市場では円相場が伸び悩んでいた。8時30分、前日17時と比べ0.59円の円高ドル安、1ドル=122.98円～123.00円だった。ウクライナ情勢の好転が期待され対ユーロでドルが売られたことに加え、原油相場の下落などを受け円が買われた。ただ、日銀が国債の市場公開買入れの増額などを公表したことをきっかけに、日米の金利差が意識され円売りドル買いが進んだ。

円は対ユーロで下落。同じく0.50円の円安ユーロ高、1ユーロ=136.42円～136.45円だった。

## LME認定倉庫在庫量推移 3月14日～3月25日(現地)





LME銅相場は反発 直物終値は反落して1万0,314.50ドル  
 COMEX銅相場は小幅続伸 SHFE銅相場は反発  
 LME非鉄相場はまちまち アルミ午後急落、直物の終値は3,416.25ドル



30日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、3月29日入電の1万0,227.00ドルより123.00ドル高の1万0,350.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.20%高。この週0.68%の上伸。3月に入って4.33%の上伸。3か月物の前場売値は、3月29日入電の1万0,230.00ドルより126.00ドル高の1万0,356.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.23%高。この週0.45%の上伸。3月に入って5.01%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地3月28日の8万0,550トンより950トン増の8万1,500トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、3月限が、3月29日入電の471.40セントより0.25セント高の471.65セント。2営業日の続伸で0.65%高。この週0.65%の上伸。3月に入って5.47%の上伸。4月限は、3月29日入電の471.45セントより0.60セント高の472.05セント。2営業日の続伸で0.69%高。この週0.69%の上伸。3月に入って5.36%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、4月限が、3月29日入電の7万3,120元より530元高の7万3,650元。3営業日ぶりの反発で0.72%高。この週0.05%の上伸。3月に入って3.97%の上伸。中心限月に当たる5月限は、3月29日入電の7万3,040元より500元高の7万3,540元。3営業日ぶりの反発で0.68%高。この週0.04%の下落。3月に入って3.81%の上伸。

**錫はまちまち**

LME錫相場の前場売値は、直物が、3月29日入電の4万2,925.00ドルより175.00ドル安の4万2,750.00ドル。6営業日ぶりの反落で0.41%安。この週0.23%の上伸。3月に入って5.42%の下落。3か月物の前場売値は、3月29日入電の4万2,425.00ドルより25.00ドル高の4万2,450.00ドル。5営業日の続伸で2.54%高。この週0.24%の上伸。3月に入って5.35%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地3月28日の2,345トンより85トン減の2,260トン。

**鉛は続伸**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、3月29日入電の2,369.50ドルより24.50ドル高の2,394.00ドル。2営業日の続伸で2.05%高。この週2.05%の上伸。3月に入って1.48%の上伸。3か月物の前場売値は、3月29日入電の2,356.00ドルより27.00ドル高の2,383.00ドル。2営業日の続伸で1.75%高。この週1.75%の上伸。3月に入って1.06%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地3月28日の3万8,725トンよりトン減の3万8,725トン。

**亜鉛は反発**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、3月29日入電の4,064.00ドルより37.00ドル高の4,101.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.91%高。この週0.69%の上伸。3月に入って12.66%の上伸。3か月物の前場売値は、3月29日入電の4,055.00ドルより31.00ドル高の4,086.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.76%高。この週0.75%の上伸。3月に入って12.90%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地3月28日の14万2,475トンより225トン減の14万2,250トン。

**アルミは反落 アルミ合金はまちまち 北米特殊もまちまち**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、3月29日入電の3,606.00ドルより23.00ドル安の3,583.00ドル。反落して0.64%安。この週横ばい。3月に入って6.78%の上伸。3か月物の前場売値は、3月29日入電の3,616.00ドルより8.00ドル安の3,608.00ドル。反落して0.22%安。この週0.49%の上伸。3月に入って8.87%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地3月28日の67万1,025トンより7万7,800トン減の66万3,225トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、3月29日入電の2,876.00ドルより1.00ドル高の2,877.00ドル。上伸して0.03%高。この週0.03%の上伸。3月に入って6.48%の上伸。3か月物の前場売値は、3月29日入電より横ばいの2,900.00ドル。この週横ばい。3月に入って7.01%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、3月29日入電の3,072.00ドルより2.00ドル安の3,070.00ドル。2営業日の続落で0.29%安。この週0.29%の下落。3月に入って7.34%の上伸。3か月物の前場売値は、3月29日入電より横ばいの3,086.00ドル。この週0.13%の下落。3月に入って7.71%の上伸。

**ニッケルは続落**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、3月29日入電の3万4,050.00ドルより950.00ドル安の3万3,100.00ドル。3営業日の続落で11.02%安。この週6.89%の下落。3月に入って34.01%の上伸。3か月物の前場売値は、3月29日入電の3万4,050.00ドルより1,350.00ドル安の3万2,700.00ドル。3営業日の続落で12.18%安。この週9.17%の下落。3月に入って34.90%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地3月28日の7万2,816トンより186トン減の7万2,630トン。

LME公示価格(US\$)／3月29日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	10,350.00	42,750.00	2,394.00	4,101.00	3,583.00	2,877.00	3,070.00	33,100.00
	前営業日比	123.00	▲ 175.00	24.50	37.00	▲ 23.00	1.00	▲ 2.00	▲ 950.00
先物	公示価格	10,356.00	42,450.00	2,383.00	4,086.00	3,608.00	2,900.00	3,086.00	32,700.00
	前営業日比	126.00	25.00	27.00	31.00	▲ 8.00	0.00	0.00	▲ 1,350.00

(3月30日 入電・現地 3月29日)

海外非鉄金属相場

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 錫HG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 鉛, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミHG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミ合金, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: ニッケル, 現物, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 3月限, 4月限, 5月限, 6月限, 7月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2415.0 (▲95.0), 2462.5 (▲43.0).

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 257.35, 353.35, 357.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレンウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1910.00 (▲27.05), 14250, 3.70, 4.00, 1.39, 1.51, 270, 300, 9.50, 11.00, 9.45, 13.00, 44.00, 47.50, 37.50, 39.00, 7300, 7900, 320.0, 350.0, 91, 93.

KLTM錫(MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: (29日), (30日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配, (3/30), (3:00AM現地). Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込

Table with columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Rows: 4月限, 5月限, 前日比, 出来高.

※30日のKLTMは取引なし。

非鉄金属製品相場

(3月30日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1580	1505	亜鉛板0.3×3×7	620	620	<b>V V F</b>
建築用0.3ミリ	1630	1555	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	1710	1705	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	1670	1685	鉛板1.5ミリ	579	579	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	1580	1595	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	1510	1495	<b>軽圧品</b>	大阪	東京	<b>I V</b>
銅条1.5×100	1550	1525	アルミ箔0.007ミリ	1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	1600	1565	〃 小板1ミリ	710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	1530	1505	〃 大板1ミリ	690	655	14sq 203~216
銅平角線	1800	1735	〃 5052板	745	705	<b>CV-T</b>
黄銅小板2.0ミリ	1315	1260	〃 5083板	760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	1345	1290	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	1465	1440	〃 線3ミリ	725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	1795	1720	〃 快削棒50ミリ	910	870	6kV 3C×38 2522~2676
復水器用黄銅管	1780	1705	〃 合金棒50ミリ(17S)	895	850	6kV 3C×60 3507~3721
黄銅棒快削25ミリ	1095	1110	〃 合金棒50ミリ(56S)	850	810	<b>CVV</b> (関西~関東)
六角棒	1125	1140	<b>貴金属(一般小口向け)</b>			3C×2 123~126
四角棒	1155	1170	白金(グラム)		◆ 4370	4C×2 164~168
鍛造用	1135	1150	パラジウム(グラム)		◆ 9850	6C×2 234~239
ネーパル	1235	1250	金(グラム)		◆ 8363	7C×2 267~274
高力	1235	1250	銀(キログラム)		◆ 110330	<b>合金鉄</b> 2月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1520	1470	<b>レアメタル輸入価格</b> 2月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有 ◆ 189
黄銅平角線ロール仕上	1720	1680	金属ケイ素(99.99%未満)		◆ 537	〃 その他 ◎ 336.2
黄銅条1.5×100	1315	1280	モリブデン酸化物		◎ 3417	フェロシリコン55%以上 ◆ 268
リン青銅板一般用1.0ミリ	◎ 2980	◎ 3170	タンタル		◆ 44400	フェロクロム4%以上炭素含有 ◎ 217.3
〃 パネ用0.3ミリ	◎ 3260	◎ 3460	マグネシウム		-	フェロモリブデン純分60%以上 ◎ 3448
リン青銅棒25ミリ	◎ 3060	◎ 3270	コバルト		◎ 8283	フェロバナジウム ◎ 3039
リン青銅線3ミリ	◎ 3460	◎ 3670	インジウム		◆ 27498	フェロニッケル33%未満 ◎ 531.2
洋白板一般用1.0ミリ	◎ 3610	◎ 3740				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 パネ用1.0ミリ	◎ 3730	◎ 3850				

減 摩 合 金	3月16日改定	銅 合 金 地 金	2月1日発表
500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	6125	BC 1種	1200
2種	5920	2種	1560
3種	5710	3種	1655
4種	4985	6種	1335
5種	4825	7種	1435
7種	1495	YBSC 3種	1060
8種	1245	LBC 3種	1595
9種	1075	PBC 2種	1685



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(3月30日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		39,000 ~ 42,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
山元建値 電気銅 1330(29) 金 7,581(30)								
( ) 実施日 電気鉛 345(28) 銀 99,110(30)								
電気亜鉛 586(28) 錫(99.99%) 6,500(22)								
非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1号銅線	1163	1160	電 気 銅 ◆	1285	◆1280	◆1287	◆1282	
2号銅線	1111	—	電 気 亜 鉛	508	502	508	502	
上銅 (新切)	1134	1125	蒸 留 亜 鉛	496	490	496	490	
雑ナゲット	984	991	再生ダイカスト亜鉛2種	464	458	464	458	
並銅	1066	1058	再 生 亜 鉛 (98%)	405	399	405	399	
下銅	1047	1031	電 気 鉛	322	319	321	318	
銅削粉	1046	1034	再 生 鉛 1 号	313	303	309	304	
銅さい (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	318	314	314	310	
新切黄銅セバ	919	925	錫 1 号	5400	5350	5400	5350	
コーベル	886	883	ア ン チ モ ン	1900	1850	1900	1850	
黄銅棒地	870	871	ニッケル(メッキ用) ◆	4300	◆4250	◆4300	◆4250	
黄銅削粉	864	867	コ バ ル ト	11400	11100	11400	11100	
並黄銅	743	708	セ レ ニ ウ ム	3500	3300	3500	3300	
黄銅ラジエター	732	707	ピ ス マ ス	1300	1200	1300	1200	
交叉ラジエター	693	666	カ ド ミ ウ ム	550	500	550	500	
黄銅鑄物	748	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	800	780	800	780	
山送り (55%)	400	—	アルミ地金 99.70 % ◆	462	◆458	◆464	◆460	
上青銅鑄物	918	—	アルミ二次地金 99 %	357	352	357	352	
並青銅鑄物	916	908	” 90 %	291	286	291	286	
上青銅鑄物削粉	911	—	アルミ二次合金ADC12	441	436	444	439	
並青銅鑄物削粉	901	896	鑄 物 用 C2BS	466	461	468	463	
新切リン青銅(伸銅)	—	1176	青銅合金地金 3種	1740	1730	1775	1765	
” (鑄物)	1039	—	” 6種	1440	1430	1465	1455	
リン青銅削粉	952	945	ハ ン ダ 錫 60 %	4070	4030	4090	4060	
新切洋白(電子材)	957	945	” 50 %	3505	3455	3525	3495	
新切亜鉛	206	206	” 40 %	3005	2945	2960	2930	
ダイカストくず	171	171	減 摩 合 金 2 種	5790	5760	5795	5765	
亜鉛ドロス	149	160	” 4 種	4895	4870	4900	4870	
上鉛	116	114	” 7 種	1460	1410	1460	1410	
電池素鉛ケース込	20	20	ステンレス・特金 18-8ステンレス 新切			145	145	
活字鉛	101	98	” ダライ粉			130	130	
新切アルミ1級	297	299	高耐食ステンレスSUS316			260	260	
新切サッシ1級	297	297	耐熱ステンレスSUS310			350	350	
新切合金1級	287	282	13クローム 新切			30	30	
機械鑄物1級	190	190	ハイス 9種			215	215	
ビス付サッシP	218	215						
合金削粉P	145	150						
込ガラP	140	142						
カン・バラ	205	199						



非鉄金属材料相場面  
PW:KINZOKU2203